全てのものが生まれ、芽吹き、そして躍動する春という季節の、今日の佳き日に、西予市長 菅家一夫様をはじめ、多数の御来賓の皆様、保護者の皆様のお臨席を賜り、令和四年度の入学式をこのように盛大に挙げていきますことを、心より感謝申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました六十名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。在校生はもちろん、私たち教職員全員が、皆さんの入学を心待ちにしておりました。また、保護者の皆様、お子様の御入学、誠にありがとうございます。立派に成長されたお子様の姿に、感激もひとしおのことと思います。心からお祝いを申し上げます。

さて、新入生の皆さんは、十年後の自分を想像したことがありますか。この西予市の活性化のために貢献しているのか、或いは日本を飛び出して海外で働いているのか。もしかしたら、地球を飛び出して宇宙を活躍の場としている人もいるかもしれません。

つい先日締め切られた、JAXAによる日本人宇宙飛行士候補募集の応募者数は、四一二七人で、これまで最多だった二〇〇八年の四倍以上だったといえます。過去四回の平均合格者数がわずか二名という狭き門であるにも拘わらず、私たちは宇宙を夢見ます。

宇宙船の外は真空、極寒の世界。国際宇宙ステーション内では、言葉も文化も価値観も違う乗務員との共同生活を強いられ、仕事では、ずらりと並ぶ複雑な機械の操作を一つ間違えば、自分と仲間の命が失われてしまう環境。宇宙飛行士とは、そんな極限状態の中で、どんな困難が直面しても決してあきらめず、仲間を思いやりながら、仲間を動かし、仲間と協力して、ミッションをこなしていく仕事なのです。

皆さんが入学してきた高校というところは、中学校までとは全く違う異世界です。宇宙飛行士とはレベルが違いますし、実際の宇宙ではありませんが、初めての先生や友だちに囲まれ、新しい勉強や活動に挑戦する厳しさは、感覚としてはある意味宇宙的といえるかもしれません。でも、そんな中、仲間を思いやりながら、仲間と協力して一つ一つのミッションをクリアしていくために、校長の私から、とっておきの三つの心を伝えたいと思います。

一つ目は「学び合う心」です。人類社会は、かつてない激しい変化の中にあります。このような中、次代を担うリーダーとなる皆さんには、あらかじめ答えが用意された問いを解決するだけでなく、正解のない問いに対して、みんなで協力して、みんなが納得できる答えを見つけ出す力が求められています。友人とともに学び合って新しい時代にふさわしい学力を身につけてほしいと思います。

二つ目は「支え合う心」です。人は自分一人の力で生きるとは難しいものです。互いを認め合い、互いを思いやり、互いを尊敬しあえる友の力が必要です。心を通じ合える真の友人関係を育ててください。「人それぞれに花あり」という言葉があります。大きくなくてもいい、自分だけの美しい花を高校時代にたくさん咲かせてください。

三つ目は「高め合う心」です。「昨日歩いたこの道、今日歩くこの道、明日歩くだろうこの道。同じだけど違っている。そういうことに気づく人になりたい」という言葉があります。私はこの言葉を、昨日よりは今日、今日よりは明日、自分自身が少しだけ高いところに進もう、そうすれば違った視点で物事を見ることができる、という意味で捉えています。仲間とともに、先生とともに夢を語り合い、目標を定め、一生懸命努力して、毎日、一歩前進できるような高校生活を送ってください。

新入生の皆さんは、今日から野村高校の一員です。「学び合う心」「支え合う心」「高め合う心」という三つの心を忘れずに、いろいろなことに挑戦して、自らの力で大きく成長することを期待します。

最後になりましたが、保護者の皆様、私たち野村高校の教職員は、お子様が成長していくための支援を全力で行う所存です。保護者の皆様におかれましても、本校の教育への御理解と御協力を頂きますようお願いいたします。

本日、入学した皆さんの高校生活が、健康で輝かしいものとなりますよう心から祈念して入学式の式辞といたします。